

「海外子女文芸作品コンクール」に全校で応募！ その2

校長 佐藤 義朗

前回の学校日よりでは、ついこの間小学校に入学した1年生の詩を紹介しました。1年生の目からみたインドの印象が素直に表現されていました。今回は、小学部2年生から4年生の詩と俳句を紹介します。自身が見て感じたインドを、限られた言葉の中に深い意味や感情を込めて豊かに表現することができました。



ふしぎがいつばい
二年 M M

ひとりのりバイクにさんにな
のつて
トラックのにだいに
すわつて
やせいのどうぶついつばい
くるまのうえにいぬ
いぬがいつばい
においいつばい
むしがいつばい
ごみがいつばい
インドふしぎだな
でもね、
フルーツおいしい
おはながいつばい
しぜんがいつばい
わかい人いつばい
優しい人いつばい
ふしぎなインドはたのしいな

いいことわるいことインド
二年 S W

おでこにあかいてんてんが
ついてる
クラクションがプップッ
うるさい
かにチュウチュウすわれる
モンスーンがパーンとながい
たべもののほとんどが
ヒリヒリからい
空気がごほごほわるい
インドいやだな
でも
はん年でなれた
たまに夕やけがパワーと
きれい
モンスーンのあとには空気が
ピカピカきれい
インドいいな



俳句

- ・リキシャから 水がバシャン モンスーン
- ・雨の音 ビー玉おちたよ モンスーン
- ・インドはね カオスな じゅうたい たいへんだ
- ・ホーリーで カラフルそまる 道ばただ
- ・黄金だ ふしぎなけしき モンスーン前
- ・モンスーン 激しい雨に 負けないぞ
- ・水たまり 跳ねてよろこぶ モンスーン
- ・グルモハル 太陽みたい 美しい

- 3年 S T
- 3年 D M
- 3年 S M
- 3年 F S
- 3年 I M
- 4年 M S
- 4年 M T
- 4年 Y Y

『インドで活躍する日本人』講演会— YouTuber Mayo さんの講演より — [好き]を力に変え、自分らしい道を切り拓く

今回の講演では、インドに関する動画を中心に発信している YouTuber の Mayo さんから、これまでの歩みや、将来に向けて大切にしてほしいことについてお話を伺いました。（5 限目＝低学年対象、6 限目＝高学年対象）

～高学年対象のお話より～

幼い頃の夢はバレリーナになることでした。しかし、12 歳頃にその夢を諦め、ヒンディー語を学ぶことを決意しました。日本で専門的に学べる大学が少ないことから、「これを身に付ければ自分ならではの強みになる」と考えたそうです。バレエ中心の生活から勉強に切り替え、1 日 16 時間勉強して大阪大学へ進学。大学で 4 年間、さらにインドのデリーで 1 年間ヒンディー語を学びました。

その後、日本で会社員として働きながら、「インドを忘れたくない」という思いから YouTube を始めました。始発で出勤し、仕事前にカフェで動画の撮影や編集を続け、少しずつファンを増やしました。やがて会社を辞めてフリーランスとなり、現在では 500 万人を超えるフォロワーを持つ YouTuber として活躍しています。

YouTube を通してインド各地を訪れ、著名な俳優に会ったり、企業や自治体から依頼を受けて商品や観光地を紹介したりするなど、さまざまな仕事につながっていきました。

講演で特に印象に残ったのが、**「自分の強みを掛け合わせる」**という考え方です。ヒンディー語、ダンス、仕事をする力、動画を作る力、人とのつながりなど、一つ一つは特別でなくても、それらを組み合わせることで「唯一無二の存在」になれるということです。「100 人に 1 人」の強みを 3 つ掛け合わせれば、「100 万人に 1 人」の存在になれるという考え方を紹介してくださいました。

また、スティーブ・ジョブズ氏の言葉を紹介し、**「自分の好きなことを見つけ、全力で取り組むこと」**の大切さについても話されました。周囲の評価を気にしすぎず、自分がやりたいことに挑戦することが大切だというメッセージです。

さらに、これからの時代は SNS などを使って、自分の力や活動を発信することも重要になると教えていただきました。一方で、一度発信した内容は残り続けるため、責任を持って発信し、間違いがあれば誠実に相手と向き合うこと向き合うことが大切です。

中学生のみなさんへ

今、将来の夢が決まっていなくても心配する必要はありません。私も、バレリーナからヒンディー語、会社員、そして YouTuber へと、人生の中で進む道を変えてきました。

大切なのは、今の自分が「好きだな」「やってみたいな」と思うことを大切にすることです。勉強、スポーツ、趣味、人との関わりなど、今経験していることが、将来思いがけない形でつながり、自分だけの強みになるかもしれません。

「自分には何ができるだろう」「好きなことと、今できることを組み合わせたら何ができるだろう」と考えながら、一歩ずつ挑戦してみてください。皆さんの「好き」や「得意」が、未来を切り拓く力になることを願っています。

